

# YUMETRY

## TRY

### Vol. 23

#### ◇空中キャバレーにてパン販売

##### ◇記事内容

農業班：酷暑！農作業は厳しい！  
 豊科店：暑さとの戦い！！  
 有明店：スタッフ、職員一致団結  
 外販部：弘法山で体力作り  
 DTP班：N君、ながのアビリンピックに出場！！

#### ◇コラム：初任者研修に参加して

夢トライ通信 8月号

発行日：2015年8月8日  
 発行：NPO法人 夢トライ  
 所在地：〒390-0805  
 松本市清水2-11-45  
 電話：0263-35-3530  
 F A X：0263-35-3547  
 メール：npo@yumetry.com  
 U R L：http://yumetry.com/npo

## 空中キャバレー

横山 浩一

案内し、即興による歌で会場を盛り上げます。マルシェでは買い物やパフォーマンスを楽



まつもと市民芸術館で7月17日から9日間『空中キャバレー』（串田和美演出）の公演が開催されました。『空中キャバレー』は、まつもと市民芸術館館長で演出家の串田和美さんが「松本に來ないと見れない公演をやるぞ」「松本を盛り上げよう」との意図で「松本歌舞伎」との隔年開催で今回が3回目です。普通のステージ、客席を使わず、芸術館西側大道具搬入口を特設会場入り口にして、開場と同時に出演者が生演奏と共に来場者をマルシェと呼ばれる広場に招き、立ち並ぶお店に



しみ、秋本奈緒美さんを先頭に鼓笛隊や出演者と共にお客様が行進し隣の広場に移動すると公演の始まりです。アコーディオン奏者のCOBARさんをはじめバンドの生演奏、外国で活躍しているサーカス団の空中ブランコやアクロバットのパフォーマンス、秋本奈緒美さん、高泉淳子さんのバラードやジャズの歌を聴いたり、串田和美さんを慕うベテランから若手までの役者



けてくる役者達の歌声に聞き入り、もう大人も子供も素敵な笑顔で時間を共有でき、演し物に合わせて、中央に集まったかと思えば、パフォーマンスを囲んで移動したりし



劇場空間を包み込みます。お客様も片手に飲み物や食べ物、片手には鳴り物を持って、頭上の空中ブランコや人間パフォーマンス、大道芸パフォーマンスにかぶりつき、観客の間をかきわけ歌い



達による笑いや悲しみに富んだ寸劇などが次々と繰り広げられ、それぞれの魅力を競い合い、同時多発で融合し、言葉では表現しきれないメッセージを奏で合

況でした。9日間販売とレジを担当して下さった職員、美味しいパンを作った頂いたコープ豊科店職員、スタッフの皆様には心より御礼申し上げます。

り、青木さんが看板作製したり職員の協力により出店準備をし、16日の最終リハーサルで開店準備を終え17日の初日を迎えました。公演は平日は19時開演、土日祝日は14時開演でしたが、連日大勢のお客様が来場され、パンは開場時間と休憩時間に販売し、休憩時間には完売するほど連日盛況でした。9日間販売とレジを担当して下さった職員、美味しいパンを作った頂いたコープ豊科店職員、スタッフの皆様には心より御礼申し上げます。



て、次第に、お客様が出演者の一人であるかのような一体感が生まれる内容です。  
 一般公募したマルシェ店舗10店舗に25店舗応募があり、有明のパン屋で応募したところ選出され9日間出店しました。店舗テナントを購入した

9月の予定 □ は休み

工房・有明

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

豊科

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 日付および場所
- 日付：7月11日（土）
- 場所：神田公民館
- 出席：24名（職員を含む）
- 主な内容
- 1 平成26年度会費決算について
- 2 NPO法人の会費管理について
- 3 夢トライが自立していくには
- 4 空中キャバレー出店について
- 5 消費生活展参加について
- 6 定例会のあり方について

### 定例会議事録より



**看板 催物会場一式請負** 横断幕・垂れ幕・看板～ポスター・チラシ・チケット作成等

夢トライ工房 〒390-0805 長野県松本市清水2-11-45 電話 0263-35-3530 FAX 0263-35-3547  
E-mail: yumetry@yacht.ocn.ne.jp

長野県看護研究学会	長野県民松本文化会館	日本A D / H D 学会総会	東京大学鉄門記念講堂
日本看護研究学会	松本市民芸術館	S S T 普及協会学術集会	群馬県民会館
SST 経験交流ワークショップ	一橋大学兼松講堂	松本市高齢者健康大会	松本市民芸術館
APASLSingle Topic Conference	幕張メッセ国際会議場	日本総合病院精神医学会総会	都市センターホテル (東京)
NASH 2010	グランドプリンスホテル高輪	日本精神病理・精神療法学会	津田塾大学津田ホール
日本総合病院精神医学会総会	栃木県総合文化センター	日本女性骨盤底医学会学術集会	大宮ソニックシティホール

**D T P**

**ながのアビリンピック**

第41回ながのアビリンピック(長野県障がい者技能競技大会)が、7月25日(土)、8月1日(土)に開催されました。この大会は、大会を通じて職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障がい者雇用に対する理解と認識を深め、雇用の促進を図ることを目的として毎年開催されています。種目もビルクリーニングや製品パッキング、喫茶サービス等、多岐にわたります。パソコン関係では、DTPや表計算、データ入力があります。

今回は主催者側からDTP部門での参加要請があり、まだ出場経験のないN君に話をしたところ、「参加してみたい」ということで、7月25日に長野ポリテクセンターで開催されるDTP部門の大会に出場することになりました。参加が決まっつてからの1ヶ月半あまり、4年前に参加経験のあるM君がサポートに付き、過去の問題を繰り返し練習しました。

また、新しい課題としてのロゴ作成も練習し、大会に向

けて準備しました。大会当日の参加者はN君を含め4人でした。他の出場者はエプソンミズベやながのクロニーからのそうそうたるメンバーで、競技開始までの注意事項の説明を受けるN君も少々緊張気味の様子でした。



競技の準備をするN君



競技の説明を受けるN君

競技概要の説明が終わり、定刻通り10時に競技が開始されました。がんばれ!! N君。

競技時間は休憩なしの2時間30分で、用意された5枚の写真素材とテキスト素材を使い、長野県の環境保護活動への参加を訴えるチラシを自由なレイアウトで配置し、尚か

つ主催者のロゴを作成するという内容は盛りだくさんであつという間に時間が過ぎてしまいました。

昼食の後は審査の為、結果発表までは時間が空いたのでポリテクセンターの中を見学しました。エレベーターの原理を解説した展示や、浄化水槽の仕組み、金属を立体的に加工できる大型の機材を見させてもらい、加工機で記念のキーホルダーを作成してもらいました。



わざまる君とのツーショット

そして閉会式となり、結果発表では、「努力賞」を頂きました。審査員に講評を聞きに行った際に見せてもらった作品は、課題の自由度が高かった為もあり苦勞の跡が伺えましたが、ロゴは個性的なものを作成でき、その点は評価してもらいました。しかし、本人によると悔しい賞で、来年はリベンジしたいと帰りの車で話していました。

**ふれあい農園**

**酷暑!農作業は厳しい!**

梅雨が明け、台風12号が過ぎ去つて本格的な夏が到来しました。ジャガイモ、カボチャ、トウモロコシの収穫がほぼ終わり、残滓と草の片付けに取り掛かっています。

夏野菜は、トマト、ナス、キュウリ、オクラと今までの失敗を何とか取り返そうと必死で調べ、考えて今年の栽培を始めましたが、その甲斐があつて今までに全く順調に高品質で美味しい実が取れています。特にトマトは販売できるような結果が出ていなかったので、ただ今までの苦勞が報われたようにピカピカのトマトが毎日収穫できています。オクラも一か所に2、3株栽培して樹勢を抑えながら栽培しているのが毎日100本から150本が収穫できてきて完全売す事が出来ています。

ただ、キュウリの栽培は、時期をずらして育苗植付をしなければならぬために収穫が間に合わず巨大なキュウリとなつてしまふ事も多く、「愛情が足りない」とスタッフの家族から言われてしまいました。が、この失敗は来年につなげ

たいと思つています。それにしても、今年の夏は猛暑で雷は鳴るものの夕立がこずに天気予報の雨マークも当てにならず、畑の土はカラカラという状態です。農業班の作業も、7時30分から初めて10時を過ぎると猛烈な日差しが畑一面に降り注ぎ、作業が出来る状態ではなくなりま

す。その為、午前中のみ作業となります。



おいしそうに実ったブドウ

スタッフは皆この環境の中で、体調を維持して通所しています。本当にご苦勞様です。果樹園の方は、ブドウの袋かけが終わり後は収穫を待つのみだそうです。お盆前後からブドウが収穫できるかもしれません。収穫の時は農業班全員で行きたいと計画しています。

# 有明のパン屋さん

本 店 〒 399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高 2216-1  
 コープ豊科店 電話 0263-88-3307 F A X 0263-88-3318  
 〒 399-8205 長野県安曇野市豊科 2637-4  
 電話 0263-88-7328



今年の夏の新作パンはズバリ「夏野菜とスパイシー！」  
 ☆夏野菜ピザ→夏の日差しをたっぷり浴びた新鮮な夏野菜を、大人気のピスマルクの上のにせました。  
 ☆カレーウインナー→ジュシーなウインナーにスパイシーなカレー、そして濃厚なチーズソースをかけてこんがり焼きました。  
 ☆ナスとカレーのポトパン→旬のナスを素揚げし、カレーとチーズソースをかけ、食べやすいポト状にしました。

	安曇野地域	松本地域	城
月	安曇野市役所 11:45~	寿台養護学校 11:30~	
	安曇野赤十字病院 10:50~	医療福祉専門学校 12:10~	
火	大町合同庁舎 11:30~	松本市総合社会福祉センター 11:30~	
	豊科病院 11:45~	看護協会 11:30~	
水	穂高社会福祉協議会 11:30~		
	大町市役所 11:50~	ビジネスカレッジ 12:20~	
木	穂高総合支所 11:50~	松本市社会福祉北部センター 11:30~	
	安曇野庁舎 11:50~	松本市役所東庁舎1階ホール 11:30~	
金	安曇野赤十字病院 11:10~	松南病院 11:30~	
	大町合庁 11:30~	寿台養護学校 11:30~	



※上記は、主要な外部販売先です。イベント等にも出店することが出来ますので、お気軽にお電話ください。  
 連絡先：電話：0263-88-3307 担当：丸山

## 豊科店

すっかり梅雨も明け真夏日が続いております。日差しも強くなってきたため熱中症など体調には気を付けて下さい。  
 さて、8月に入り豊科店で、今年の初めにお辞めになった職員であるHさんが土曜・日曜限定で、お手伝いにレジに入っていたら、Hさんが戻ってきたことを喜ぶスタッフや、お店に来ていただくお客様もHさんの顔を覚えている方が多く、店全体がパツと明るくなったように感じます。Hさんには忙しい中、わざわざお手伝いに入っていたらとても感謝しております。  
 また、暑くなってきたためかスタッフの体調が安定しなく急な休みや早退が目立つことが多くなっております。コープ店内では冷房が効いていますが、製造の部屋では、パンが乾いてしまうなどの理由で冷房を使うことができません。そのため、こまめな水分補給などを促し、体調には気を配って仕事に取り組んでいます。  
 来月の9月には豊科店も3周年を迎えることになりま

す。記念セールも企画しておりますので是非お店にもいらして下さい。



綺麗な店内

## 有明店

いよいよ、夏本番、日中38℃を超える気温で未だ猛暑が続いております。外での、お仕事・休日のご家庭で生活面においても、大変ではないでしょうか？熱中症予防として、脱水症にかからない為に、こまめな水分補給を致しましょう！  
 さて、有明のパン屋さんの様子ですが、店舗活性化を目的としたスタッフ並びに職員で全体ミーティングを行いました。否定的な発言はなし、フリートールキング形式で行い全員の方に参加して頂きました。様々なアイデアがあり、とても有意義な会議でした。スタッフのモチベーションが

上がりお店の売上の活性化になれば幸いです。具体的には、お客様への笑顔でもてなし・店舗内に飾り付けをし、華やかにする等の様々のご意見がありました。「皆、笑顔でパンを販売しましょう。」のキャッチフレーズでスタッフ・職員紹介掲示板を書き似顔絵で作成し、店舗に飾り付けを行いました。



掲示板の作成

## 外販部

梅雨も明け、暑い夏がやって来ましたが、松本外販部では暑い夏に負けない体制を整えるため弘法山へ行きました。天気がよく、気温が30℃を超える中でしたが、急な坂をのぼり頂上からの景色をみんなで見ました。弘法山からの



弘法山の頂上にて



外販途中の風景

さて、パン販売をさせていただいている寿台養護学校や専門学校が夏休みに入り、販売させていたただく日数が少ない期間に入りました。現在、売り上げが減少しています。そこでパン外販部では、売り上げが上がるよう、販売をとおしてパンの売り方を研究しています。パンを販売する際、パンを冷やしたり、オススメするパンを考えたりにしながらパンが売れるよう頑張っています。  
 8月に入り、さらに夏の暑さがきびしくなりますが、外販メンバー全員で力を合わせて、よりよいパン販売を目指していききたいと思います。

グループホーム

# BEING ビーイング



台の下で伏せるネネ

部屋の前で佇むユウタ

**貴**方の時計はどのように時を刻んでいますか？  
そして、貴方はどのように時を刻みたいのですか？  
ひとり一人の速さで、ひとり一人の秒針の長さで時を刻める場所、それがBeイングです。  
私たちBeイングができること、それは何らかの障害をもっているとしても時代の中で、社会の中で、街の中で自分らしい生活をいとなむことのできる場所と、その鍵をお渡しすることです。

本当に夏真っ盛りといつた猛暑日が続いている日本各地ですが、Beイングの入居者の方達も夏の暑さに参っているといったところですが。最近、皆さんは仕事から帰ってきて、この暑さで体が疲れているということもあり、夕飯を食べて自分の部屋に戻り、体を休める入居者の方達もいらつしやいます。体調管理が難しい時でもあります。

また、Beイングと一緒に住んでいたM・Nさんが亡くなられて、2週間余りが経ちましたが未だに信じられません…。一緒に住んでいた方達はもちろんですが、毎日牛山さんと一緒に来ているネネやユウタもその内の一人です。ネネもユウタも亡くなったM・Nさんが本当に好きでした。今でも毎日、M・Nさんが入居されていた部屋の前でお座りをして見つめているユウタ。M・Nさんが毎日使っていた居間の台の下で伏せをするネネ。ネネもユウタも、M・Nさんが亡くなったことが分かつているようです…。M・NさんがBeイングからいなくなってしまうことは、悲しいですがいつまでもメソメソしてはいられません。また、ここからいつものBeイングらしさを取り戻していきたいです。

## コラム

### 障害者相談支援従事者初任者研修に参加して

福祉人材の人材育成の一環として開催された障害者相談支援従事者初任者研修に、夢トライから私青木と、小島さんと参加してきました。講義を3日間受け、演習を2日間行いました。講義では福祉の考え方の変遷の歴史からはじまり、当事者のニーズを中心とした社会資源の活用を考えるケアマネジメントの在り方、障害者総合支援法について、自立支援協議会の役割や、様々な法制度、相談支援の現場についてなど様々な話を聴きました。

特に印象に残ったこととしては、相談支援で支援計画を立てる時には、障害者が地域で暮らせるように、既存のサービスありきであてはめていくようなやり方ではなく、本人との信頼関係をつくり、要望を聞き取り、ニーズを導き、本人のできることを引き出しながら、社会資源の活用を検討していく、という支援計画の立て方の解説でした。講義が終わると、課題が出され、とある障害者の事例と

アセスメント表（事前の面談から得られた11項目にわたる本人の現状と要望をまとめた表）から、100文字要約と呼ばれる本人の軸となる思いの要約をして、そこから主訴を導きます。それをふまえ本人の現状や要求からニーズをまとめ、サービス等利用計画を策定し、週間計画表を作成して、演習に臨みました。



ルプレイを行います。始めにそれぞれの役における役作りの解説があり、本人の希望と父親の希望が食い違う設定なのですが、それを基本に面接を行います。いざやってみると、本人の要望を聞き出すことがいかに難しいかが分かってきました。父親にしてみれば子どもが心配のあまり「そんなことができるのか」「それで大丈夫なのか」という横やりが入り、ともすると本人そっちのけで、父親との話し合いになりがちで、本人の話を聴くとか、本人に話しかけるとかがなかなか出来ないのです。模擬面接でさえそうなるのだから、実際の場面では更に難しいのだろうと痛感させられました。反省点をふまえ、役割を変えて同じようにやりましたがなかなか思うようにはいかず、あつという間に時間が経ちました。

演習では、松本圏域をはじめ、上田や佐久地域、上伊那など、各方面の様々な事業所から参加している人々が8、9名づつ13グループに分かれ、グループごとにロールプレイ等のグループワークをこなしていきます。

が、本人の希望と実際のサービステの間で様々な意見が出て、間が埋まらなかつたりと、本人の主訴を尊重することの難しさを知りました。2日目は、1日目に策定したサービス等利用計画を基に関係各機関の担当者が集まり、相談支援員の進行で本人と父親に福祉サービスを取り入れたこれからの生活についての説明をするケア会議を行いました。本人の希望を叶える為のサービスの説明をし、父親の心配に伝えていくというものですが、ここでもやはり本人に寄り添うことの難しさを感じました。

午後、各グループ毎にブレインストーミング形式で、本人の暮らしをより豊かにする計画を立て、それを発表して全日程を終了しました。普段は意識しなかった事が体験でき、非常に有意義な研修会でした。

### 編集後記

毎日、猛暑日の日が続いて嫌になりますね!!今月のおススメの記事は「空中キャバレー」についてです。読んでいるだけでワクワクします。是非、ご覧下さい。(高野)